

TOP 企業と出会う就活イベント 1~3年生参加で大盛況



↑企業説明会の回り方レクチャー

「TOP 企業と出会う!秋の専修キャリアフェア」が生田キャンパスで昨年10月11日(土)に開催され、約940名の学生が参加した。3年生のみならず1・2年生の参加も多く、就職活動の早期化が進む中、低学年次から就職を意識する傾向がうかがえた。

集まったのは知名度の高い44社。企業の説明は1回につき30分で、学生は関心のある企業の教室を自由に訪問し、一日で最大6社の話を聞くことができる。どの企業の話を聞けばいいかわからないという学生に向けては「企業説明会の回り方レクチャー」も実施。さらに「OB・OG訪問活用講座」「大手企業内定学生からのレクチャー」「なんでも相談コーナー」なども開かれた。



↑全日本空輸株式会社の説明会場

就活のスタートを切った3年生にとっては業界や仕事を知る絶好の機会に、1・2年生にとってはキャリアを見据えた大学生活を送るための参考になったよう。主催したキャリア形成支援課では、3月にも学内企業説明会を予定している。



↑今村力三郎
←展示を見る学生



↑裁判所に提出した今村の弁論稿をまとめた書籍『帝人事件弁論』。400頁以上に及び事件の根本原因を論じている

帝人事件をテーマに 弁護士今村力三郎の功績を振り返る

今村力三郎は1888(明治21)年に専修大学の前身、専修学校の法律科を首席で卒業し、その後は弁護士として大逆事件や五・一五事件など数々の刑事事件を担当した。さらに1946年から亡くなる54年まで、専修大学総長として、私財を投じて大学再建に尽力。その功績を振り返る展示が昨年10月に神田キャンパス5号

館で開催された。

シリーズ5回目の今回は、1934(昭和9)年に起きた疑獄事件「帝人事件」をテーマに、訴訟記録や書簡などの関連資料を展示。内閣総辞職をもたらした軍部が政治的影響力を強めるきっかけともなった歴史の転換点ともいえる事件を通し、今村の実像に迫った。

暴力、絶対ノー！ デートDV予防プログラム

恋人間での暴力を防ぐための「デートDV 予防プログラム」が、昨年11月5日(水)に生田キャンパスで、NPO 法人エンパワメントかながわの協力で実施された。身体的な暴力だけでなく、「見下す」「服装や交友関係を制限する」「避妊に協力しない」など相手の尊厳を踏みにじるデートDVは、カップルの3組に1組で起こっているという調査結果もある。そうした実態を踏まえ、学生たちは意見交換しながら学んでいった。

講師の阿部真紀さん(エンパワメントかながわ)はプログラムの最後、「暴力を受けている人は『自分が悪い』』と思い込んでいることが多い。身近な人が“あなたは悪くないよ”と寄り添い、話を聞くことが大切。困ったら専門機関に相談してほしい」と学生に訴えた。

定期的実施されているこのプログラム。今回は人間科学部永野由紀子教授の「家族の社会学2」の受講生が対象。横山翔海さん(文4)は「どこからがデートDVかの基準が分かった。身近な問題に感じた」、池田心優さん(人科3)は「友人の話でも、それって束縛ではと思うこともある。困っている友人がいたら助けてい」と感想を語った。



↑ DVをする側、される側の気持ちについて学生同士で意見交換

相談機関

デートDV110番 050-3204-0404
 通話料無料のブラウザやアプリの電話もあります
 チャット相談も始めました
 友達追加してね→@ddv110
 デートDVのことなら、誰でも、どんなことでも相談できます
 毎週月～土19～21時

ddv110 検索

←相談機関が紹介された



↑横山さん

取材に同行した会報『育友』編集委員の感想



安藤直子さん
 きちんと相手のことを考えるように、息子とも講義の内容を話してみたいです。



井田英彰さん
 参加型のワークショップでいい内容でした。多くの学生に聞いてほしいですね。

学生支援で、パックご飯を無料配布

物価高騰の影響に伴う学生支援として、食料提供等を行う「学生生活支援プロジェクト」が実施された(生田12月12・18日、神田12月12日)。今年度6回目となる今回の支援では、パックご飯などの主食を中心とした食料品が合計1,427名に配布された。

→生田10号館アカデミーモールで配布



INFORMATION

専修コミュニティ

投稿を募集しています

会報『育友』にあなたの原稿をお寄せください。原稿用紙1枚(400字)程度からでも投稿できますので自由な内容でお書きください。1ページ最大1,500字程度です。原稿と併せて写真も歓迎いたします。

採用させていただいた方には図書カードを進呈いた

します。応募は、E-mail、郵送いずれかの方法で、お名前、ご住所、電話番号をお書き添えの上、お送りください。誌面の都合で掲載できない場合や一部割愛する場合がありますことを予めご了承ください。

現時点で投稿しようか迷っていらっしゃる方は、読者アンケート(巻末参照)の投稿チェック欄に☑をつけてください。ご連絡させていただきます。

送り先 専修大学育友会事務局
 〒101-8425 東京都千代田区神田神保町3-8
 E-mail ikuyuuka@acc.senshu-u.ac.jp